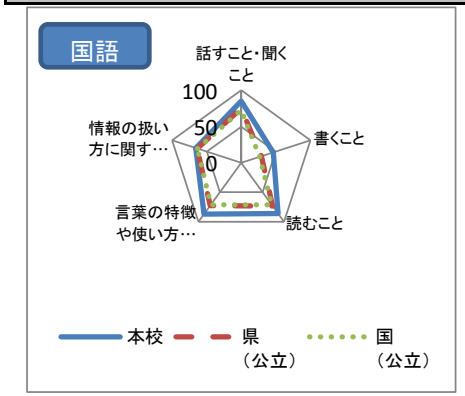
令和5年度全国学力・学習状況調査　指導方法等の改善計画について【国語】

海田　　小学校

本年度正答率（本校80%，県69%，国67.2%）	本年度の結果について



○全体的な傾向について
　全体の正答率は，80%で全国平均を12.8%上回った。広島県平均と比較しても基礎的・基本的な知識や活用については一定の定着が見られる。また，問題形式でみると，選択式の正答率は82.8%であるが，記述式は68.3%と全国，広島県平均より高い。条件に合わせて書いたり，キーワードを見付け，その関係性を捉えながら，資料等と関連付けて読み取ったりする点に課題がある。

○昨年度の課題への取組の成果
　ICTを活用するなど，表現方法を工夫することによって自分の考えをまとめ記述することについての抵抗が小さくなり，一定の成果が表れた。振り返りの充実には，全校でどの教科でも継続して取り組んできた。

重点課題	重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）	全校での目標（キャッチフレーズ）
【課題1】 大問1の2　川村さんの文章の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く。	・海小タイムで条件のある記述式問題を解き，情報を整理する際の方法や条件に合った答え方の指導を行う。 ・見直しをする必要性について指導をし，日頃から授業やテストの時に視点を明確にして見直しをさせるようにしていく。	キーワードや資料との関係性
【課題2】 大問2の3　相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものとして適切なものを選択する。	・低学年段階から系統性を意識して指導をする。 ・説明文の学習で，要約の仕方について線を引くや矢印でつなげるなど具体的に指導を行っていく。	関係性を見付けながら

令和5年度　全国学力・学習状況調査　数値目標
全体【80】 話すこと・聞くこと：75 書くこと：70 読むこと：85 言葉の特徴や使い方に関する事項：85 我が国の言語文化に関する事項：90

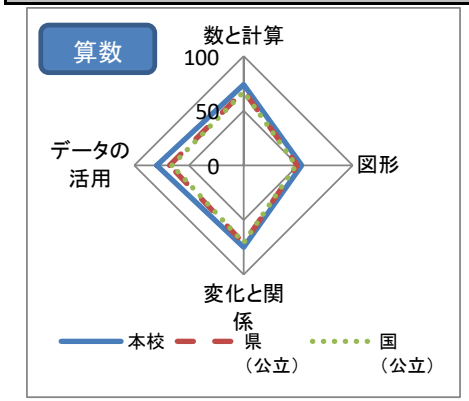
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法		海小タイム（条件に合わせた問題）		全学年 標準学力調査		海小タイム（条件に合わせた問題）	5年生 全国学力学習状況調査
目標値				全国平均を上回る			75%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法		6年　みんなで楽しく過ごすために 5年　固有種が教えてくれること	6年　鳥獣戯画を読む	全学年 標準学力調査	6年　筆者の考えを読み取り，しゃかいと生き方について話し合おう。 5年　想像力のスイッチを入れよう	全国学力再テスト（6年）	5年生 全国学力学習状況調査
目標値		単元テスト80%	単元テスト80%	全国平均を上回る	単元テスト80%		75%
実施後数値							

令和5年度全国学力・学習状況調査　指導方法等の改善計画について【算数】

海田　　小学校

本年度正答率（本校70%，県64%，国62.5%）	本年度の結果について



〇全体的な傾向について
　全体の正答率は，70%で全国平均を7.5%上回った。広島県平均と比較しても基礎的・基本的な知識や活用については一定の定着が見られる。また，領域別にみると変化と関係の領域の正答率が低いことに課題が見られた。また，2位数÷1位数の筆算の仕方を基に，各位の商が実際に何を示しているかを答える問いの正答率が全国及び県平均より低かったことから，既習内容の基礎的な学習にも課題が見られる。
〇昨年度の課題への取組の成果
　変化と関係の領域の正答率が低いことに対して，ドリルタイム等で基礎的な学習を行ったことから，同領域の正答率は全国及び県平均より高かった。

重点課題	重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）	全校での目標（キャッチフレーズ）
【課題1】 大問3(4)　各段階の商の意味を考えることができていない。（正答率43.3%）	筆算のやり方だけでなく，その意味を考えさせる機会をもつ。（全学年で適宜確認する必要がある。） 計算が形式化しないようにしていく。	意味理解
【課題2】 大問2(3)正三角形の性質が分からない，問題の意図が理解できない。（正答率25.0%） 大問2(4)図や問題から読み取る力が弱い。 底辺×高さ÷2で求められることがわからない。 説明することができない。（正答率25.0%）	学年を通してのつながりや系統性を意識した指導を行う。 また，算数の目等で見方・考え方を整理したり，単純な問題だけでなく，問題に一貫性のあり，つながりがある問いに挑戦したりする。	系統性と多様性

令和6年度　全国学力・学習状況調査　数値目標
全体【73】 数と計算：78 図形：70 変化と関係：75 データの活用：75

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	6年生全国学力解き直し（正答率が低い問題）	5・6年生算数のツボ	5・6年生算数のツボ	標準学力調査	5・6学年学習の復習及び全国学力再テスト	5・6年生算数のツボ	5年生全国学力過去問
目標値	80%	80%	85%	平均を上回る	85%	85%	80%
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	6年生全国学力解き直し（正答率が低い問題）	5・6年生算数のツボ	5・6年生算数のツボ	標準学力調査	5・6学年学習の復習及び全国学力再テスト	5・6年生算数のツボ	5年生全国学力過去問
目標値	80%	80%	85%	平均を上回る	85%	85%	80%
実施後数値							

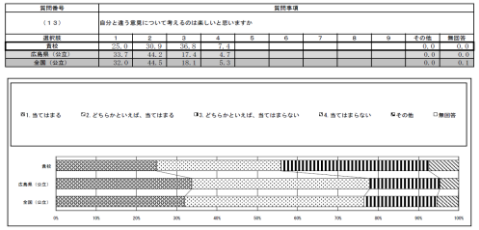
令和5年度指導方法等の改善計画について【質問紙】

海田　　小学校

別紙2－小質問紙

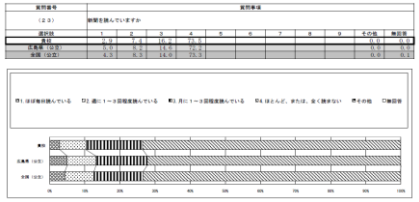
（全国学力・学習状況調査　質問紙）

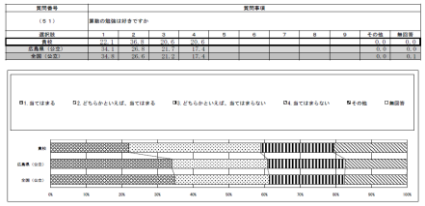
（1）生活・学習



児童生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
(13)「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」の項目において，否定的回答をした児童が44.2%で全国平均を27.4%より多い。(県22.1%，全国23.4%)	・授業の中に話し合う活動や意見を言える場を設定する。 ・振り返りをする場面において，自分の考えと友達の考えの違いを意識して感想を書くよう促す。	全	否定的回答の児童を20%以下にする。	・各教科等の振り返り ・ｉ－check	・授業や各単元の振り返り ・1月		

（2）教科





	児童生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
国語	(23)「新聞を読んでいますか。」の項目において週1回からほぼ毎日読んでいる児童は10.3%で全国平均を2.3%下回っていた。(県13.2%全国12.6)また正答率が高い児童ほど家庭の蔵書数や新聞を読む頻度が高かった。	・文章を読む機会をできるだけ多くするために，授業の中で読む学習を国語科に限定せずどの教科でも取り入れていく。 ・音読の機会を増やすことで，語彙を増やしたり，文章の構成の仕方を習得できるようにしたりする。	全	毎日文章を読んでいると回答できる児童が80%以上	・単元ごとの振り返り ・児童アンケート	・単元末の振り返り ・学期末		
算数	(51)「算数の勉強は好きですか」において当てはまると答えた児童は22.1%で全国平均を12.7%下回っている。(県34.1%，全国34.8%)	・教科書の内容を丁寧に取り扱い定着を図ることで，自信に変えていく。 ・教科書の巻末にある生活に生かす算数についての問題を解き，算数の有用性に気付くことができるようにする。	全	あてはまると答える児童が35%以上	・児童アンケート	学期末		